

富浦地区学校再編に関わる保護者説明会・地区説明会の 意見等について

I. 開催概要

会議名	開催日	会場	参加者数	
			保護者・市民	検討委員
保護者説明会	令和5年12月19日(火)	富浦中学校体育館	82名	16名
地区説明会	令和6年1月24日(水)	富浦中学校体育館	18名	17名

II. 保護者説明会での意見・質問

1 スクールバス通学をする場合、バスの台数は確保できるのか。

(回答) 必要なバスの台数は確保していきます。

2 スクールバスについて、どういうコースで何台くらい走るのか。

(回答) 統合が決まれば、通学支援部会という専門部会を設け、その中でどういうコースを走るのか検討していただき、必要な台数が決まります。

3 部活に加入した場合、終わる時間がバラバラなときもあると思う。その場合、子ども達の帰りは迎えに行くことになるのか。

(回答) スクールバスを運行している中学校については、スクールバスの時間に合わせて各部活動が終わることになっています。なお、土曜日・日曜日に部活がある場合は、部活の活動状況に合わせて、その時間帯でバスを運行しています。

4 資料2の推移見込みを見ると、結局全部1クラスになってしまう。そうなった場合、教員数も今の10人程度に戻ってしまうが、この辺についてはどのように考えるのか。

(回答) 統合しても数年後に元に戻るという状況になりますが、統合しなかった場合については、生徒数はもっと少ない状況になってくると思います。現実にもこういうような人数になってきたときに、この時点で何ができるのか判断していかなければいけないと思っています。

5 富山地区は学園になっていて、小学校から中学校まで同じくくりになっているかと思うが、学園というのは無くなり、中学校単位になるのか。

(回答) 各中学校単位で、保育所・幼稚園・小学校・中学校、これらひとまとまりで学園としています。同じ敷地に各施設が有る、無しの違いはありますが、学園の中で連携について話し合っていて取り組んでいます。もし、富浦中学校と富山中学校が統合した場合については、新たな学園ということで、中学校は一つ、小学校は二つ、子ども園が二つ、そういうような形の学園となります。

6 子ども達の人数はどんどん少なくなっていると思うが、先生方の配置の人数というのは変わらないのか。

(回答) 国の法律で決まっています。各学校に配置する教員を増やしてほしいと要望はしているが、変わっていません。

7 中学2年生の子が来年統合になりますとなった場合、急に3年生同士で同じ学校に通うことになり、高校受験プラス友達作りということになる。統合される前に何かワンクッションあればいいと思います。

(回答) 白浜中学校と千倉中学校は統合という方向性が出てから何回か一緒に学習したり、お互いの学校に行ったりとか、そういう面でも準備期間を置いています。また、中学校だけではなく、小学校の段階でもそういう交流を行っています。

8 中学校が統合すると、富浦小学校と富山小学校があることになりませんが、学校行事が重ならないような配慮をしていただけるとありがたいです。

(回答) 子ども園が二つ、小学校が二つ、中学校が一つということになり、同じ学園ということになりますので、それは連携をとってやっていきます。

9 富山中学校には現在、柔道部が無い状態なのですが、統合となった場合、柔道部が無くなってしまうのでしょうか。

(回答) 富山学園にも柔道を行える武道場があります。また、どんな部を新しい中学校に残していく、あるいは作っていくかは、具体的に統合という結論が出た後、学校を中心に話し合っていて決めていきます。

10 今回のような説明会というのは、今後何回程度考えているのか。

(回答) 回数、時期の判断は検討委員会の皆様にさせていただきます。

11 統合するとしたら、富浦が富山に行くのか。

(回答) 富浦地区・富山地区の両方で「統合する方向で検討していきます」という結論を出していただいたら、両地区合同の会議を開催し、学校の再編時期、学校の位置、学校の名称について検討委員の皆様方に協議していただきますので、まだ決まっています。

12 一緒に学んだり、活動していった方が子ども達のために良いとは思っているが、富山地区の検討委員会の議事録に、富山から富浦に行くのは難しいというようなことがありました。合同会議になった際、富浦が富山に、逆に富山が富浦に、そういった堂々巡りになった場合、どのように結論を出していくのか。

(回答) 今までの例で、どちらかが来いとか、吸収だとか、そういうような言葉は議論の中では出てこなかったと記憶しています。富浦地区も富山地区も同じように子どもの数が減っていきますので、どういう環境を子ども達のために整えたら良いのかという、そのようなことで話し合っていたらと思います。

13 学校の位置ですが、既存の建物の場所を検討しているのか。

(回答) 富浦地区・富山地区の両方で「統合する方向で検討していきます」という結論を出していただいたら、合同会議を開催します。教育委員会としては、それに合わせて、提案できるよう整理していきたいと思っています。

14 統合について、予定としてはいつぐらいを予定しているのか。また、和田・丸山地区、白浜・千倉地区について大体何年くらいでまとまったのか教えてほしい。

(回答) 和田・丸山地区の中学校については、結論までは1年程度。状況を整えるのに時間がかかったが、それでも3年はかかりませんでした。小学校については、ちょうど東日本大震災の後で津波の心配など校舎の位置について議論があり、3年くらいかかりました。白浜・千倉地区につきましては、コロナで会議のできない期間が間に入りましたが、実質的に会議が2年くらいで、準備していく期間があり、コロナを入れて4年くらいかかりました。富浦・富山地区についても、方向性が出るのに最低2年、いろいろな準備に1年、早くても3年はかかると想定しています。

15 決まるまでの期間が大体3年くらいということでしたが、目標みたいなところは考えているのか。

(回答) 3年程度はかかるというような見込みは持っていますが、絶対に3年で会議を進めて行ってもらいたいということは全く考えていません。ゆっくりということも考えませんが、急がせるというようなことはせずにいきたいと思います。

16 再編計画というものがあつたが、富浦と富山を統合するのは距離の関係で難しいとの記載があつた。当時の考え方と今の考え方は変わったという認識で良いか。

(回答) 平成23年度に計画を修正し、旧町村を越えた再編も必要があれば進めていく方針とした。その方針で検討いただき、和田地区と丸山地区の中学校が最初に統合した。今は、児童生徒数の状況を見ながら適切に進めていくということを基本に、スクールバスに乗っている時間が30分程度、あるいは距離が15km程度を一つの目安に進めてきています。

17 警報があつた場合スクールバスの運行が止まっています。そうすると保護者が学校まで送って行き、帰りも止まっていれば保護者が迎えに行きます。保護者の負担も増えるため、検討の中で必ず考えていただきたい。

(回答) 引き渡しの3原則を満たした場合については迎えに来ていただいています。満たされない場合は、満たされるまで学校、あるいは子ども園でお預かりするということを行っています。結果的に皆様方に御負担をかけますが、警報等が出た場合についてはそのような対応を行っていますので、どうか御理解いただければと思います。

※ 引き渡しの3原則

- ① 通学路の安全が確保されている。
- ② 自宅や周辺の安全が確保されている。
- ③ 帰宅後に保護者(大人)が保護し続けられる。

18 警報が出たときスクールバスの運行は止まっていますが、授業は行われているため、親が送って登校しています。スクールバスが運行できないくらいの警報ならば、思い切って休校にするとか、もしくは授業を行わないとかそういうことも検討していただければと思います。

(回答) 御心配の件については、検討させていただきたいと思います。

19 警報のとき、登校は安全を確認した上で家庭の判断となっています。1日の欠席が受験に影響をしますので、そういったとき、欠席扱いにしないとか、そういった点も検討していただきたいと思います。

(回答) 自然災害とか、そういうようなものに伴う事情のある欠席については、検討していきたいと思います。

Ⅲ. 地区説明会での意見・質問

1 災害があった場合お迎えになるが、国道等の道に不安がある。お迎えの手段はどう確保したら良いか。

(回答) 市では、即お迎えということはしないようお願いしています。引き渡しの3原則が確認された場合について、お子様をお渡ししています。学校・子ども園が安全なところにありますので、信頼してお預けしていただきたいと思います。

※ 引き渡しの3原則

- ① 通学路の安全が確保されている。
- ② 自宅や周辺の安全が確保されている。
- ③ 帰宅後に保護者（大人）が保護し続けられる。

2 本当に大きな災害があった場合、早く迎え入れてあげたいという思いがあります。道路の状況も検討いただかないと保護者としては不安です。

(回答) 東日本大震災の例を踏まえ、子ども園あるいは小・中学校は極めて安全なところへと心掛けています。子どもを自宅に引き取るのではなく、自宅から一緒に避難していただくのが良い方法だと思います。

3 三芳地区の統合は生徒数が現状維持するため見送るとなっていますが、令和11年度までしか推移がなく、富浦・富山地区は令和17年度まで推移があります。三芳地区も令和17年度まで推移が見たいです。理由は、学校の位置を検討する際、三芳地区が減少して統合となる場合も考慮した方が良いと思うからです。

(回答) 三芳地区の令和17年度まで表記した資料は、次回の検討委員会で資料として提示し、検討委員の皆様方に協議していただきたいと思います。

4 朝夕子ども達が声をかけてくれ、地域のいろいろな催物に参加させていただき、中学校の近くに越してきて良かったと思っていましたが、この話を聞いて驚いています。市川に中学校とケアハウス等が複合となっている施設があります。そういう複合施設として中学校を残すことはできないか。

(回答) 中学校が無くなること、複合施設、これらについては御意見としていただき、検討委員会の皆様方にそれを踏まえて協議していただきたいと思います。

5 子どもや若い人、お年寄りも皆がいる地区になって欲しいです。もっと仕事を
する場を政策的に増やしていただきたい。

(回答) 教育委員会だけではなく、市役所全体でいろいろな取り組みをしています。
若い人達が増えて、子ども達も増えるような努力は続けていきたいと思っています。

6 富浦地区は転入生が増えていると思いますが、再編をしないと人数が追い付か
ないのか。

(回答) 富山地区も同様に転入してくる子ども達がありますが、それらを踏まえても全
体としては人数が減っているのが現状です。

7 統合すれば正規の教員数が増えるという説明があったが、令和5年度で富浦中が
11人、富山中が10人で合算21人となり、実質減ることになると思う。中学校
の教員もなり手が少なくなってきているのか。

(回答) 教員のなり手が減ってきているのは事実であり、千葉県だけではなく、全国
的な傾向です。二つの学校を合わせると教員が減ることですが、合わせた2
1人に比べてではなく、それぞれ単体のときの考え方です。令和5年度の富浦中が
10人ですが、統合した場合は、17人となり、7人増加するという考え方です。

8 今回は富浦地区と富山地区の統合ということで、三芳地区だけが取り残されてし
まう。三芳地区もクラスや人員確保、部活動の機会を考えるならば含めても良いと
思う。なぜ三芳地区だけ外れてしまうのか。

(回答) 三芳地区は、令和5年度に比べると若干増える見込みとなっています。今回
は生徒数が減っている富浦地区と富山地区で検討をしていただきたい。

9 検討委員にP T A役員が入っているが、市の職員の方でP T A役員をやっている人もいる。もしかしたら、地域から学校が無くなってしまふかもしれない重要な案件だが、職員の方は委員のときに言いたいことも言えないのではと思っています。P T Aで職員がいる場合、違う方になっていただきたかったというのが正直な感想です。

(回答) P T Aの役員を決める際、検討委員会の仕事があるということは全く想定せず決めていると思います。P T Aも意図的に職員を役員に選んでいるということは無いと思いますので、御理解いただければと思います。また、職員であっても保護者の立場があるので、主張すべきところは主張すると思っています。

(委員長) 検討委員に選ばれた時点で、富浦の子ども、あるいは統合しようとする子ども、この子ども達の将来のためにどうしたら一番良いのか、まずそれを頭の中に置いて、いろいろ検討しながら一番良い方法を選び出していく、それが検討委員の役目だと思っています。